

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公開番号】特開2019-202541(P2019-202541A)

【公開日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-048

【出願番号】特願2019-100791(P2019-100791)

【国際特許分類】

B 41 J 2/175 (2006.01)

B 41 J 29/00 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

G 03 G 21/00 (2006.01)

G 06 F 21/64 (2013.01)

【F I】

B 41 J 2/175 175

B 41 J 29/00 Z

B 41 J 29/38 Z

B 41 J 2/175 119

G 03 G 21/00 390

G 06 F 21/64

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月17日(2020.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

交換部品の交換時期に関わる数値情報と、

前記数値情報を受信する受信手段と、

前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段が記憶する最新を含む二つの前記数値情報同士を比較する第1手段と、

前記第1手段の比較により記憶する最新の前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第2手段と、

前記第2手段により改ざんされたと判定した際に、記憶する最新の前記数値情報を改ざんされる前に戻す第3手段と、を備え、前記交換部品に備えて用いることを特徴とするICチップ。

【請求項2】

請求項1に記載のICチップを備えることを特徴とする交換部品。

【請求項3】

請求項2に記載の交換部品の装着手段と、

前記数値情報を前記ICチップへ送信する送信手段と、を備えることを特徴とする装置。

【請求項4】

交換部品の交換時期に関わる数値情報と、

前記数値情報を受信する受信手段と、

前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、

前記記憶手段が記憶する最新を含む二つの前記数値情報同士を比較する第1手段と、前記第1手段の比較により記憶する最新の前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第2手段と、

前記第2手段により改ざんされたと判定した際に、記憶する最新の前記数値情報を改ざんされる前に戻す第3手段と、を備え、前記交換部品に備えて用いることを特徴とするモジュール。

【請求項5】

交換部品の交換時期に関わる数値情報と、前記数値情報を受信する受信手段と、前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段および前記受信手段を有するICチップと、前記ICチップを有する前記交換部品を装着する第1手段と、前記第1手段が装着した前記交換部品と対応する前記数値情報を記憶する第2手段と、前記第2手段が記憶する前記数値情報と前記ICチップが記憶する前記数値情報同士を比較する第3手段と、

前記第3手段の比較により前記ICチップが記憶する前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第4手段と、

前記第4手段により改ざんされたと判定した際に、前記ICチップが記憶する前記数値情報を改ざんされる前に戻す第5手段と、

前記数値情報を前記ICチップへ送信する第6手段と、前記第1ないし第6手段を有する装置と、を備えるシステムに用いることを特徴とする装置。

【請求項6】

プロセッサを、請求項5に記載のシステムに用いる前記第3ないし第5手段として機能させるための制御プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため本発明のICチップは、交換部品の交換時期に関わる数値情報と、前記数値情報を受信する受信手段と、前記受信手段が受信した前記数値情報を記憶する記憶手段と、前記記憶手段が記憶する最新を含む二つの前記数値情報同士を比較する第1手段と、前記第1手段の比較により記憶する最新の前記数値情報が改ざんされたか否かを判定する第2手段と、前記第2手段により改ざんされたと判定した際に、記憶する最新の前記数値情報を改ざんされる前に戻す第3手段と、を備え、前記交換部品に備えて用いることを特徴とする。